

みんなで支える地域の輪

第90号 2020年1月5日号

小金地区社協だより

小金地区社会福祉協議会 編集・発行
松戸市小金きよしヶ丘3-1-1(小金市民センター内)
TEL 047-343-8690/FAX 047-710-3141

3面 2面 1面
内容 新年を迎えて
福祉15回「ふれあい広場」開催
関係機関紹介
紅葉とお茶を楽しむ会
ランティア交流会
ボランティア会食会
小金さんぽ⑫「香取神社」
市民運動会
からこんにちは
編集後記

内容 新年を迎えて
福祉15回「ふれあい広場」開催
関係機関紹介
紅葉とお茶を楽しむ会
ランティア交流会
ボランティア会食会
小金さんぽ⑫「香取神社」
市民運動会
からこんにちは
編集後記

小金地区社協活動から



かるがものクリスマス（上）ふれあい広場では初めての試み、市社協の「ポッチャ」と「うたごえカフェライブ」が！（中・下・記事2面）

結婚50周年祝賀会が盛大に開催されました（上・記事3面）、ボランティア交流会では各グループのボランティア一堂に会し、活動内容を報告（下・記事4面）

紅葉とお茶を楽しむ会・本土寺の紅葉と日舞（上・中・記事4面）、ふれあい会食会にNHKの取材（下・記事3面）



私自身も最近は意図的に気持ちを引き締めるために、「新年を迎えて」リセットを心掛けています。今年はいいよオリエンピックイヤー、東京での開催は二度目です。今回のテーマは「おもてなし」の心ですが、そこには優しさや労りを含みます。体や心に不自由さを抱える方々にとって、居心地の良い空間と場所を用意することでできれば「おもてなし」の際たるものになることは間違いないありません。ができるているか等々。

心のバリア・フリーはできてるか、支援を必要としている人に手を差し伸べているか、また自分自身も支援を受け入れれることができるか等々。

私もオリンピック・パラリンピックを機に今一度自分自身を見つめなおしたいと思います。



小金社会福祉協議会
会長 小野 順子

《新年を迎えて》
心のバリア・フリーを！

第15回「ふれあい広場」開催 ～本年度初「うたごえカフェライブ」～

《第1会場（メイン会場）・小金小学校体育館》

10月20日（日）、「第15回小金地区社協・ふれあい広場」が小金小学校体育館、隣接の旧幼稚園舎、校庭で開催されました。

メイン会場の体育館では、9時半から開会式が行われました。来賓の本郷谷松戸市長、文入市社協会長、伊藤教育長、小金小学校長はじめ市や地域の関係者の皆様方が多忙な日程を割いて駆けつけてください、小金地区のふれあい広場に温かいエールを送つてくださいました。

舞台では小金小学校吹奏楽部の演奏がオープニングを飾り、続いてグレースこども園の園児の合唱。可愛らしいほほえましい舞台でした。フロアでは地区公社の「かるがも」が「アンパンマン体操」、紙芝居、「大風呂敷」で会場をにぎわせ、ボランティアの小金南中の生徒さんも幼児に交じって参加。午後は地区公社「友愛サウンズ」が歌声広場で来場者をなごませ、フロアでは市社協指導で「ボッチャ」と車いす体験。ボッチャ初体験の方も多く、興味深く説明を聞きゲームを楽しんでいました。イベントの最後は、小金南中学校吹奏楽部の演奏。総勢80人の迫力ある見事な演奏には、会場いっぱいの観客が大拍手。アンコールに応えた演奏も！短く感じられた1時間でした。

メイン会場では、前記のイベントと同時に「かるがも」、「小金放課後児童クラブ」、「ガールスカウト千葉県第26団」、「スポーツ推進委員」が展示や工作を行い、来場者の皆さんには、日ごろ目にすることの少ない地域の福祉団体の活動を見学、体験。スポーツ推進委員の体力測定コーナーは終日にぎわっていました。（若林）



開会式には大勢の来賓が！

《第2会場（お楽しみ会場）・旧幼稚園舎》

第2会場（お楽しみ会場）では、喫茶コーナーに本年度初めての試み「うたごえカフェライブ」が設けられました。社会人音楽サークル「オルケスター・ココローネ」による生演奏が行われ、フルートやギター、マンドリンなどのアンサンブルによる演奏が、多くの聴衆を集め大好評で、コーヒー・紅茶、クッキーなどを頬張りながらの癒しの空間となりました。

喫茶コーナーには、チユーリップの花束やバッグなどの手作りの商品が所狭しと並べられ、販売されました。また、ラスクなども並べられましたが、こちらは完売したこと。

玄関脇でのマジックバルーンコーナーでは、お揃いの大きな襟のユニホームを付けた小金南部の民生委員が、目を輝かせて列に並ぶ子どもたちに応えてバルーンを作り続け、とても喜ばれていました。



作品作りを楽しむ参加者たち

《屋外会場（校庭）》

校門には「第15回小金地区社協 ふれあい広場」と書かれた大きな看板が立てられました。

校門を入るとすぐにスタンプラリー受付と会場案内、左手側には、園芸支援グループの花苗の販売、晴香園担当メダカ販売、警察の移動交番「トカ一」、防災防犯事業部による防災関連展示。体育館方向に進むと、おからドーナツの香りが人を引きつける「豆のちから」、並べられた手作り品が温かい「わかば苑」、沖縄の产品が並んだ「更生女性保護会」、小金水道局の小金の水。

体育館入口前には小金地区社協の屋台村の数々。男性料理教室グループの洋菓子、会食会グループの和菓子、小金北部民生委員によるトン汁、清志町町会による焼きそばが来客を歓迎しています。

食事用テントをはさんだスペースでは歴史ある小金小学校自転車部による模範演技。自転車部は今年が最後ということで、地域の方々から惜しみない拍手が響きました。食事用テントの中では、思い思いの食事を楽しみながら、隣り同士声をかけ、和やかなおしゃべりが広がりました。ボランティアの中学生グループが一緒に食事をする姿もありました。賑やかな声に振り向くと、幼稚園児の親子が友達同士でスタンプラリーのカードを首からぶら下げ、手にはマジックバルーンのウサギや花、剣を持つて走り回っていました。

また、中学生ボランティアの売り子さんが、それぞれの和菓子やクッキーなどをケースに入れて来客の皆さんに声をかけていました。

それぞれの役割をきちんと、でも楽しみながら動いている様子は輝いて見えました。屋外のイベントについては、好天に恵まれたことが何より成功の源と言えるでしょう。（鈴木）



今年最後の演技・小金小「自転車クラブ」

福祉懇談会「高齢者の孤独を防ぐには」

「輪の中に入れない高齢者たち」

小金地区社協の活動方向を考える上で重要な福祉懇談会。今回は11月21日(木)、小金市民センター会議室において高齢者の課題について、行政、関係機関、地区社協が意見交換。

◆小野会長からの挨拶 小金地区は高齢化率25%を超えたが、子どもの数は減っていない。昨年度、認知症の方や高齢者などが集まる「街カフェ」開設。今年度中に北部地区にも街カフェを1カ所開設予定。

◆行政の相談窓口に「地域のサークルに入れないと」の来所者。周りの方と喧嘩をして輪に入れないと。言葉の障がいなどでいら立つ方の話は、丁寧に聞くことで、冷静になつてもらえる。ケースワーカーでの経験。社会とのかかわりを絶つている方がいる。長期的に話を聞いていく。(地域福祉課)

◆市内15の包括支援センターと連携し、いきいき安心プランを実施。昨年度は地域づくりフォーラム「はつらつクラブ」を行つた。小金地区は「ミステリーツアー」で、高齢者、障がい者、子どもたちの交流の場が持てた(87号既報)。次年度より75歳以上の方は、介護保険と健康保険が一体化した後期高齢者保険に切り替わる。ハイリスクの方へのアプローチがしやすくなる。(高齢者支援課)

◆65歳以上の方の個別相談を受け、ネットワークを活用して生活を支援。介護予防、ケアプラン作成、虐待・消費者被害にも対応。(包括支援センター)

組んでいる。ロコモティブ防止の運動啓発に健康推進員が活躍している。(保健福祉センター)行政の時間外などをサポートするのが民生委員。日が暮れると寂しく悲しくなる高齢者が多い。電話を受けると駆け付けて半紙を聞く。(民生委員)

※ 各機関の情報交換の成果が、地域福祉の向上に役立つことが期待されます。(若林)

結婚50周年祝賀会

~「晴れの日」を祝い盛大に開催!~

11月22日(金)良い夫婦の日に、令和になって最初の「結婚50周年祝賀会」が、小金市民センターホールで開催されました。

当日は11月とは思えないほど暖かかった昨日までと違って肌寒い雨模様でしたが、会場はお二人揃って50年目の節目を迎えた33組65人の晴れやかな笑顔が満ちていました。

受付の後は記念写真の撮影。小野会長の開会挨拶の後、社協から記念品贈呈。食事のあとは日本舞踊、友愛サウンズとの懐かしい歌謡曲の大合唱。

結婚51年目を迎えたご夫妻は「これまでよく持ちました」と、少々照れ気味に話されていました。

同席された方たちが、初対面とは思えないほど

和気藹々と「これからもお互いに元気で!」と話がはずむ様子を見ながら、久しく!との思いが膨らみました。(稲葉)



各テーブルで会話が弾みます

笑顔が広がるふれあい会食会

~3地区で開催~

【清志町】10月10日(木)清志町会館で参加者39名で開催。町会内最長寿者の小笠原栄子さん(96歳)に花束贈呈。おいしいお弁当と講話、余興、おしゃべり。満足です、と笑顔の皆さんでした。(鈴木)

【小金本町・小金ハイツ・宮元町・上町・中町・八坂町・下町】11月14日(木)73名の方々が参加され、小金市民センターホールで開催。松戸東警察署から『詐欺の手口を録音』の注意喚起。食後の余興は手品と『加代子&俊南京玉すだれ』による飛驒高山の芸能披露、大人の紙芝居『金色夜叉』の上演。最後はハモニカに合わせての大合唱になりました。(橋本)

【中金杉・幸田地区】小春日和の12月12日(木)小金北市民センターホールで参加者82名で開催。

松戸東警察の「電話

De 詐欺」予防の話はNHK千葉も取材に。食後の手品ではひとつ教えてもらい、落語もあり、笑顔の花が咲きました。(稲葉)



輪ゴムを使った手品に挑戦!

【小金北部地区民児協】小野順子会長、委員定数21名。北部地区独自の活動として、年1回一人住まいの高齢者を対象に「ゆうゆう会食会」という昼食会を開催し、皆さん直接顔を合わせる機会とが、仕事への負担感を減らしつつ理解を図して、喜ばれています。

【小金南部地区民児協】若林桂子会長、委員定数25名。平成30年度から2年間、千葉県のモデル民児協として「地域共生社会の中で誰もが自分らしく暮らせる地域づくり」の活動に取り組んでいます。12月から4人の新任委員を迎えます。

(若林)

関係機関紹介 (12)
地域福祉課+南北事業
民生委員児童委員協議会



高齢者施設を視察

紅葉とお茶を楽しむ会

11月26日(火) 東漸寺に続き、12月2日(月)、本土寺で「紅葉とお茶を楽しむ会」が開催されました。あいにくの雨模様でしたが、雨に煙る紅葉は風情があり、鮮やかな色合いの、まさに素晴らしい見頃でした。久保平賀から参加の女性は「何回か参加していますが、毎回楽しんでいます」と、おいしいお茶と和菓子、仲間とのおしゃべりや余興の日本舞踊を堪能されています。(稲葉)



挨拶する小野会長

用意された軽食をおいしくいただき、交流を深め、参加者62名は新たなスタイルを切りました。(鈴木)



新たな仲間意識で!

ボランティア交流会

「横の連携を深めて、一層の活動を」
12月8日(日)、小金市民センター・ホールにおいて「小金地区社協ボランティア交流会」が開催されました。

各グループのメンバー紹介と活動報告が行われ、日ごろさまざまな活動の合間に事務所でそれ違うだけの関係から、新たな仲間意識に変化した機会でした。

手当法実技を丁寧に教えていただく。参加のお子さんは2歳。人間に見立った人形に胸骨圧迫と人工呼吸の組み合わせの実技を不思議そうに、身を乗り出して見ていた。(鈴木)



大人も全力で!

◆小金町会・自治会名

小金上町町会 小金本町町会 小金八坂町町会 小金宮元町町会 小金中町町会 小金下町町会 小金上総町自治会 小金清志町町会 ニツ木第一町会 ニツ木第二町会 大谷口町会
大谷口北自治会 大谷口南町会 大金平一丁目町会 大金平二丁目町会 大金平三丁目町会
大金平四丁目町会 大金平五丁目町会 中金杉自治会 幸田自治会 富多葉自治会 平賀町会 殿平賀町会 殿平賀南町会 東平賀町会 東平賀北町会 東平賀城町町会 きよしけ丘町会 シヤンボール町会 久保平賀町会 根木内城山自治会 北小金ハイツ管理組合自治会 ベル新松戸管理組合 ラミーユ松戸ハイライズ自治会 きよしけ丘サンピューハイツ自治会 オー

小金地区市民運動会

「畠天を吹きとばし元気に開催!」

10月14日(祝・体育の日)、小金南中学校校庭で小金地区市民運動会が行われました。

小野会長のねぎらいの挨拶に続き、

各グループのメンバー紹介と活動報告が行われ、日ごろさまざまな活動の合間に事務所でそれ違うだけの関係から、新たな仲間意識に変化した機会でした。

用意された軽食をおいしくいただき、交流を深め、参加者62名は新たなスタイルを切りました。(若林)



広報事業推進室長 若林桂子
・稲葉眞理・鈴木洋子・橋本美智子

編集後記

☎ (343) 8690

私たちのメンバーは第80号から編集を担当し、現在90号まで発刊してきました。無我夢中でした。たくさんのお出会いがありました。お叱りも受けました。素直に反省し、取材に応じてくださった皆様に感謝し、前に進みます。読後の感想をお寄せください。(鈴木)



かるがもの家族参観

小金さんぽ⑫「香取神社」

「幼児をもつ家庭の災害対策」
11月23日(土・祝) 前日からの冷たい雨。今日は家族参観日。「乳幼児の急救講習・AED講習」を計画。一組の家族が参加。嬉しい。小金消防署職員4名を嶋根副会長と14人のスタッフが出迎えた。2班に分かれ、乳幼児の応急手当法実技を丁寧に教えていただく。参加のお子さんは2歳。人間に見立った人形に胸骨圧迫と人工呼吸の組み合

わせの実技を不思議そうに、身を乗り出して見ていた。(鈴木)



事務局からこんにちは
「第37回松戸市福祉大会で表彰」

香取神社は、小金北市民センターから約200mほど西に行つたところ

にあります。千葉県香取市にある香取神宮を總本社とする、長い歴史をもつた神社で、宮司の齊藤均(位・権中教正)さんは、長年地域福祉に貢献された方です。

ところで、神社での作法について、お賽錢をあげてから「カランカラ」と鐘を鳴らし、2礼2拍手の順番と思つていませんか? 今回、宮司の齊藤さんから「皆さんはよそ様のお宅を訪ねた時、黙つてガラッと戸を開けて中に入り、手土産を玄関においてから、表に出てピンポンと鳴らしますか?」と、鐘を鳴らして自分がお参りに来たことを伝え、お賽錢をあげてから2礼2拍手する、正しい順番を教えていただきました。散歩や初詣で香取神社を訪れた際には、正しい作法でお参りしたいものです。(稲葉)

5年以上地区社協のボランティア活動に携わっている方は表彰の機会があります。

永年にわたりボランティアとして活動している堤晴美・小澤久子・長谷川松枝・部谷千鳥・牧野弘さんの5名。評議員の堀博さん他3名、な

らびに共同で児童が園芸作業をしている小金小学校が対象です。